

## 患者用パスについて

- ①経膣分娩：患者用パス
- ②帝王切開術（クレキサンあり）：患者用パス
- ③帝王切開術（クレキサンなし）：患者用パス
- ④新生児（経膣分娩）
- ⑤新生児（帝王切開術）
- ⑥早産・低出生体重児（経膣分娩）
- ⑦早産・低出生体重児（帝王切開術）

上記①～⑦のパスについて

産科病棟では、「Hello Baby」パンフレットにて患者へ妊娠期～産褥期まで一貫した指導を行っている。

クリティカルパスについて、患者用パスとして、「Hello Baby」の内容に含まれ、患者用パスとして同様の扱いを行っている。

入院中は「Hello Baby」の P41～61 ページを指導・教育として使用している。

## 14. 入院中のスケジュール

	自然分娩	帝王切開分娩
前日		手術の準備をします。 (オリエンテーション、採血、剃毛等)
当日	産後2時間は分娩室で赤ちゃんとお過ごし、異常が無ければ産後の部屋へ戻ります。分娩6時間後からシャワーに入れます。産後薬の内服が開始となります。	朝モニターをつけて、身に着けているものを全て外します。ご家族は手術の間ロビーでお待ちください。 手術後はベッド上安静です。 禁食です。手術から帰室6時間後で飲水は開始します。 授乳は寝たまま行います。
1日目	小児科医師による赤ちゃんの診察があります。(入院診察)	小児科医師による赤ちゃんの診察があります。(入院診察) お母さんの採血があります。 尿管を抜き、歩行開始します。 産後薬の内服が開始となります。 通常昼食からお粥が始まります。
2日目	夕食がお祝い膳です。	傷の診察があります。異常が無ければシャワーに入ることができます。(洗髪は不可) 背中 of 麻酔を抜きます。
3日目	お母さんの採血と尿検査があります。	お母さんの採血があります。
4日目	母子手帳に産後の母子の経過を記録します。お母さんの体重を測定してください。	夕食がお祝い膳です。
5日目	沐浴指導があります。(5日目退院をご希望の方は4日目に実施します。) 赤ちゃんの採血と退院診察があります。 お母さんの退院診察と抜糸があります。	沐浴指導があります。(6、7日目もあります) 赤ちゃんの採血があります。
6日目	退院。	お母さんの採血と尿検査があります。 母子手帳に産後の母子の経過を記録します。 お母さんの体重を測定してください。
7日目		赤ちゃんの退院診察があります。 お母さんの退院診察と抜鉤があります。
8日目		退院。

## ❀ その他のイベントや注意事項 ❀

### お母さん

- 日々のスケジュールは毎朝、日中の担当スタッフがお伝えします。
- 本館 5 北病棟に新生児預かり室があります。シャワーやトイレ、売店へ行く時等、必ず赤ちゃんを新生児室に預けてください。
- 体温計、預かりカード、カードキー（大部屋の方のみ）を渡します。退院時に返却をお願いします。災害時に必要なレスキューママが赤ちゃんのベッドに準備されていますのでスタッフとともに使用方法の確認をしてください。
- 月・水・金曜日に退院指導があります。
- シャワーは30分ごとの予約制です。シャワー室の予約方法はスタッフが案内します。
- 内服薬は毎食後スタッフが確認させて頂きますので、机の上に置いておいて下さい。
- 携帯電話はロビーにある電話BOXの中でのみ使用いただけます。
- 個人情報保護法により希望があれば病室入口とベッドのネームシールを取り外すことができますので、ご希望の方はスタッフにお申し出ください。
- 自然分娩の方は4日目と退院日、帝王切開分娩の方は6日目と退院日に母子手帳に記録を行いますので、入院中はお手元にお持ちください。
- 出産後は疲労や出血が原因で血圧が低下しやすく、転倒するリスクがあります。出産直後はスタッフが一緒に付き添って歩行しますが、それ以降でも貧血症状がある場合には一人で歩かず、必ずスタッフを呼んでください。特にトイレに行った後に気分が悪くなる方が多いです。無理せず、スタッフを呼んでください！！（P44 参照）

### 赤ちゃん

- 毎朝 6 時に赤ちゃんの体重測定を新生児室で行います。赤ちゃんの体重減少率が大きい場合は小児科医の診察があります。黄疸の検査も一緒に行います。（P58.59）
- 赤ちゃんの生まれた時間によって入院診察が当日と1日目で前後する場合があります。
- 赤ちゃんは出生後 24 時間以内と退院前日に出血予防のためにビタミン K2 シロップを内服します。スタッフが赤ちゃんをお預かりして内服します。
- 赤ちゃんの先天性股関節脱臼の有無を確認するために整形外科医師の診察があります。
- 5 日目の採血は先天性代謝異常のスクリーニング検査をするためのものです。赤ちゃんは全員この検査を実施します。結果は 1 ヶ月健診で小児科医からお伝えします。
- ご希望の方に生後 3 日目から聴覚検査を実施しています。（P46.47 参照）

産後の経過に異常がなければ自然分娩は 5 日目、帝王切開分娩は 7 日目に退院が可能です。ご希望の方はスタッフにお伝えください！

## ❀ 帝王切開術を受けられる患者様へ ❀

### 手術前日

- 病棟内をご案内します。入院中は当院のパジャマにお着替えください。
- お産セットを配布し、手術についてのオリエンテーションを行います。
- 採血、体重測定を行います。
- お腹にモニターを付け、赤ちゃんの心拍とお腹の張りを調べます。
- 手術説明書・同意書、輸血同意書、深部静脈血栓予防についての同意書をお預かりします。
- 手術部位の剃毛を行います。その後シャワーに入ってください。
- 麻酔科の医師が麻酔や最終飲食の時間について説明に伺います。その後麻酔同意書をお預かりします。

### 手術当日

- 朝お腹にモニターを付けます。
- 身に着けているもの（コンタクトレンズ、メガネ、指輪、イヤリング、ピアス、マニキュア、ジェルネイル、入れ歯、差し歯等）を全て外していただきます。マニキュア及びジェルネイルは手足ともに落とします。
- 弾性ストッキングを履き、ショーツを履きかえます。
- ご家族の方は面会時間の前でも来院していただけますので、手術の時間まで一緒にお過ごしください。手術の間はロビーでお待ちください。手術終了後、医師から説明があります。

# 15. 出産・育児に伴う届出、手続き

赤ちゃんが生まれたら手続きをしましょう！

## ①出生届

生後 14 日以内に市役所、区役所または各支所へ届出が必要です。

必要なもの：出生届、母子手帳、印鑑

→入院中に届出をした場合は、必ず母子手帳を一度病院に持ってきてください。退院前にスタッフが母子手帳に入院中の経過を記載させていただきます。

## ②健康保険

国民健康保険：住民票のある市区町村へ。

社会保険（健康保険、共済組合等）：勤務先の窓口へ。

## ③小児医療助成

自治体によって異なりますが、赤ちゃんが一定の年齢になるまで医療費が助成されます。

必要なもの：赤ちゃんの健康保険証、印鑑等自治体によって異なります。

## ④出生連絡票

母子手帳に綴じてあるはがきに記入をし、居住地の市区町村に送付しましょう。

保健師が新生児訪問に来てくれますので、育児の相談等ができます。

その他、出産育児一時金、出産手当金、児童手当、児童扶養手当等があります。対象者に条件があるものもありますので、詳しいことは市区町村や勤務先に問合せをしてください。

また、市区町村によって産後に受けられる支援事業があります。民間にも様々なサービスがありますので、出産前に内容を確認し、賢く利用しましょう。

# 17. 沐浴

## 1) 目的

- ①赤ちゃんの身体の清潔を保つ。
- ②赤ちゃんの血行をよくし、全身の新陳代謝を促す。
- ③全身を観察する。
- ④赤ちゃんの哺乳力を高める。
- ⑤お母さんと赤ちゃんのスキンシップを図る。

## ※注意点

- ・赤ちゃんは抵抗力が弱いため、生後1か月までは沐浴槽を使用しましょう。
- ・赤ちゃんの生活リズムをつくるためにできるだけ毎日同じ時間帯に入れてあげましょう。
- ・授乳の後、30分～1時間くらい空けてから沐浴をしましょう。
- ・下記の「2)①赤ちゃんの様子」に該当する場合には、沐浴をお休みしてお着替えだけ、もしくはお尻だけ洗ってあげましょう。

## 2) 準備するもの

沐浴槽、ボディソープ、赤ちゃんの着替え、オムツ、沐浴布、洗面器  
お臍の消毒薬、温度計、ブラシ

## 3) 沐浴の準備をしましょう。

- ①赤ちゃんの様子を見ましょう ⇒
  - ・お熱がないか（37.5℃以上ないか）
  - ・吐いたり、下痢をしていないか
  - ・元気はあるか
- ②お部屋の温度を確認→25℃程度が適しています。
- ③赤ちゃんの着替えを準備します。



## 18. 退院後の過ごし方



### 1) 産後の母体の変化

産後2ヶ月位をかけて身体が妊娠前の状態へ少しずつ戻っていきます。

- ・子宮・・・産後2ヶ月位かけて元の大きさに戻っていきます。この子宮が元に戻る時に痛みも伴うことがあり「後陣痛」といいます。後陣痛はお産後0～3日がピークです。授乳の際に赤ちゃんが乳頭を刺激することにより、子宮収縮を促すホルモンが分泌されるため、強く感じる場合があります。
- ・悪露・・・子宮内や膣の傷から血液の分泌があります。産後4日目までが一番量が多く、個人差があります。産後1ヶ月位かけてだんだん量が減っていき、色も赤色、褐色、黄色、白色と変化し、次第に止まります。退院して日常生活に戻り、活動量も増える事で、少なくなり始めていた出血の量が多少増えることがありますが、問題ありません。

※ 下記の症状がある場合は子宮の戻りが悪いことや子宮内の感染が考えられるので病院にお電話下さい。

- ・いきなり大量に出血した。(月経の1番多い日、真っ赤な色)
- ・レバーのような大きな塊が出た。
- ・腐った様なきつい臭いがする。
- ・突然強い痛みが出現した。

### 2) 産後の健康管理

出産からの十分な回復を待つ間もなく、赤ちゃんの育児がまっています。身体も心も負担が大きいため、退院しても十分な休養をとっていくことが必要です。

#### ●過ごし方の目安

退院後～1週間目・・・赤ちゃんのお世話、授乳、オムツ交換などの育児をします。無理せず自分自身の身の回りのことをしましょう。

家事などは周りの人に協力してもらい、十分な休養を取りましょう。入院中と同じ様な日常を過ごしましょう。

2～4週間目・・・体調をみながら家事など少しずつできることから始めましょう。

4週目以降・・・妊娠前の生活をしてよいです。

## 19. お産後の健診

### ●赤ちゃんの1か月健診

退院日の約3週間後の月曜日に予定されています。退院時に予約票をお渡しします。

赤ちゃんの成長や発達を見るために、計測と小児科医師による診察があります。

ビタミンK欠乏性出血予防のためにK2シロップを内服します。

聴力検査がある場合は小児科にて聴力検査を行います。

成長・発達について気になることがあれば小児科医師にご相談下さい。

#### <持参するもの>

赤ちゃんの診察券、母子手帳、赤ちゃんの保険証、着替え、オムツ、ミルク(必要な方)

#### <注意事項>

- ・計測や診察の直前に授乳をするとK2シロップが飲めず、吐いてしまうことがありますので診察直前の授乳は避けて下さい。
- ・授乳室は小児科外来にありますのでご自由にお使いください。
- ・ミルクとお湯は各自でご持参下さい。

### ●お母さんの1か月健診

赤ちゃんと同じ日に健診があります。退院時に予約表をお渡しします。

帝王切開分娩の方は退院日の約2週間後に傷の診察があります。

#### <持参するもの>

お母さんの診察券、母子手帳、尿検査の伝票

以下の流れに沿って受診してください。

- ① 再診機で受付（お母さんと赤ちゃん両方）
- ② **1 番初診受付**で赤ちゃんの保険証の登録
- ③ 1 番初診受付で赤ちゃんの名前のカルテをもらい2 階の小児科外来受付へ
- ④ 2階の採尿室でお母さんの尿検査（尿伝票を提出）
- ⑤ 13 時～小児科外来で赤ちゃんの計測
- ⑥ 13 時 30 分～小児科医師による診察
- ⑦ 小児科受付で基本表を受け取る。

↓3階の産婦人科外来へ移動！

- ⑧ お母さんの血圧、体重を測定し、産婦人科受付に診察券・母子手帳を提出
- ⑨ 産婦人科医師による産褥健診
- ⑩ 助産師による保健指導（傷の診察時にはありません）
- ⑪ 産婦人科受付より基本表を受け取り会計へ